

2009 - ダムなんでも相談室 が開催された

2009/08/06

今年で4回目となる「ダムなんでも相談室」が北の丸公園の科学技術館で開催された。ブースのテーマは「多すぎる水・少なすぎる水」とし、地球温暖化防止対策として有効なクリーンエネルギーである「水力発電」の重要性をアピールした。

今年は「ダム工学会」と「CMED会」の共催として、7月31日から8月2日の3日間で1,200人を超える来場者を迎えた。

ブース運営のコンセプトは、「本物・手造り・参加型」とし、企画から運営までを本物の技術者が行い、手造り水力発電模型を来場者が操作できるように工夫した。水車が回り、LEDランプが点灯すると「オー！点いた！」と歓声があがる。またアーチアクション模型の実演にも参加できるよう工夫した。お母さんからも「解りやすい！」と高評を博した。

来場者には全員ダムクイズに挑戦していただき、正解することにより、「東京都で使用する水の70%が他県のダムに頼っていること」、「水力発電が最もクリーンなエネルギー（電気1kw当りのCO₂の発生量が最も少ない発電方法）である」ことを説明、理解して頂いた。

来場者にはダムグッズとして、ダム卓上カレンダー・ダム下敷き・クリアファイル・温暖化防止アピール文・アーチアクション模型作成説明文・ビー玉（アーチアクション実験材料）を袋に入れて配布した。

当日、ブースでは「ダム博士」に扮したCMED会・コンサル・JDECの各メンバーが3

日間で延べ25名参加した。参加者からは、「大変だったが、充実した時間だった」、「小さな一歩だが、手応えを感じた」などの感想が寄せられた。



来場者が水力発電模型を操作



クイズに挑戦し説明を受ける来場者

(CMED会「ダムなんでも相談室」担当)